



< イベント案内 >

東部地区第2層協議体

## 新川町の目指す地域像についての 意見交換会の開催



日時：7月10日（水） 午後2時～3時30分  
会場：サンライズ2階 （西川哲夫氏宅の横）

新川町をどのような地域にしていきたいのか？

新川町の地域課題は何なのか？

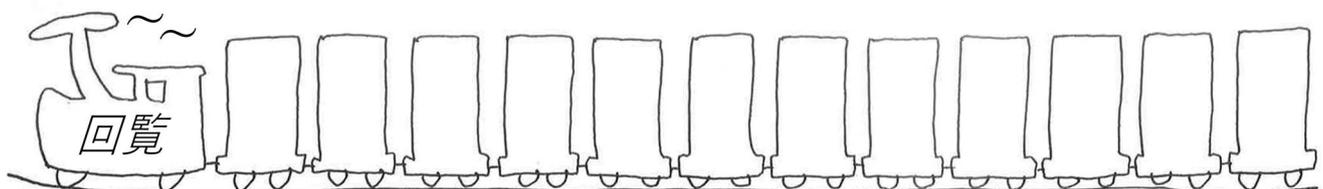
新川町が目指す地域像について意見交換し、  
複数あがった地域課題から優先順位の高い課題をどのように解決していくのかを、  
住民ならびに関係機関とともに検討していきます。  
ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

### あんしん調査等であがった新川町の地域課題（抜粋）

- ・「閉じこもり」や「虚弱」のリスクが、前期高齢者では市全体の平均よりも低い、後期高齢者になると市全体の平均よりも高くなる。
- ・世帯状況をみると、65歳以上の夫婦世帯が54%で一番高い。将来、片方が亡くなった場合、単身世帯の割合が増加することが予測される。
- ・よく外出しているが、地域の活動に参加している割合が低い。
- ・足腰が弱くなって、公共機関を利用できなくなった時に、行動範囲が狭まる可能性がある。
- ・「近隣の方と話がしたい」「ご近所の方とは挨拶くらいの交際で寂しい気がする」「近隣の助け合いの関係まではしていない」「地域の方とお知り合いになる機会が多くあるといい」

参加予定者：新川町自治会長、落合自治会長、新川町の住民、新川町地区担当民生委員、地域の医療関係者、居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業所、東久留米市社会福祉協議会、東久留米市役所介護福祉課 等

お問い合わせは 新川町自治会会長 松岡 繁（458 1710）まで



必ず読んだ印をつけてから次の方へ回して下さい。停車時間は短めに!!

令和元年6月吉日

新川町自治会  
会長 松岡 繁 様

東久留米市東部地域包括支援センター  
センター長 石島 明美

### 令和元年度 第1回 東部地区 第2層協議体の開催のご依頼

梅雨の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は東久留米市東部地域包括支援センターの業務について格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新川町地域の現状や課題の改善に向けて皆様と検討する会を開催させていただきたく、ご案内させていただきます。

お忙しいとは存じますが、ぜひご出席を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

日 時：令和元年7月10日（水） 14：00 ～ 15：30

会 場：新川町自治会集会所

（詳しくは、別紙の『第1回 東部地区 第2層協議体 会場のご案内』を参照して頂くようお願いいたします）

参加予定者：新川町自治会会長、落合自治会会長、新川町の住民（27日を含む）  
新川町地区担当民生委員、地域の医療関係者、  
居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業者、  
東久留米市社会福祉協議会、東久留米市役所介護福祉課 等

目 的：平成28年度及び30年度のあんしん調査から抽出した課題や  
住民の方から挙がった課題に対する改善策について、住民、  
関係機関と共に検討する。

内 容：新川町が目指す地域像について意見交換していくと共に、  
複数挙がった地域課題から優先順位の高い課題をどのように  
解決していくのかを検討していく。

問い合わせ：東久留米市東部地域包括支援センター  
担当：木呂子

電話：042-428-7788

FAX：042-429-1300

## 令和元年7月10日の第2層協議体について

- ・第2層とは・・・日常生活圏域（中学校区等）、東久留米では、東部、中部、西部地区を指します。
  - ・協議体とは・・・民生委員や自治会等の地域の方々、関係機関が集まって、高齢者の地域課題やニーズ（地域の見守り、介護予防等）を共有し、その課題についての解決を話し合う場です。
- また、情報交換をしながら地域の関係者や関係機関とのネットワーク・関係づくりをおこなっていきます。

### <今回の第2層協議体の流れ>

- ・目指す地域像について意見交換



- ・地域課題の改善策についての意見交換・検討

（住民の方から挙げた地域課題、平成28年度及び30年度の地域実態把握調査で取ったアンケート結果から見えてきた地域課題等）

→複数挙げた課題から、優先順位の高い課題をどうやって解決していくのか話し合う。

### <東久留米市介護予防事業対象者把握事業 調査結果報告書（平成28年3月）から見えてきた課題>

- ・新川町の場合、前期高齢者では閉じこもりや虚弱のリスクが市全体の平均よりも低い、後期高齢者になると、市全体の平均よりも高くなる。

### <平成28年度（新川町1丁目）の地域実態把握調査で挙げた地域課題>

- ・新川町1丁目の世帯状況を見ると、65歳以上の夫婦世帯が54%で、一番高い。

将来、片方が亡くなった場合、単身世帯の割合が増加することが予測される。

- ・よく外出しているが、地域の活動に参加している割合が低い。
- ・足腰が弱くなって、公共交通機関が利用できなくなった時に、行動範囲が狭まる可能性がある。
- ・自由記述の中には、「近隣の方と話がしたい」「ご近所の方とは挨拶くらいの交際で寂しい気がする」「近隣の助け合いの関係まではいっていない」「今後、（夫婦の）どちらかが亡くなったり、病気になっただけなら困ることは発生すると思う。地域の方とお知り合いになる機会が多くあるといい」と書かれていて、近隣との交流がない方もいることが伺える。

→動けなくなった場合、孤立することが予測される。

### <平成30年度（新川町2丁目）の地域実態把握調査で挙げた地域課題>

- ・新川2丁目の世帯状況を見ると、子や孫など同居の世帯が50%で、一番高い。

- ・他の地域に比べると、全く外出しない人の割合が高い。

- ・足腰が弱っても、同居しているご家族がフォローしてくれるので、益々動かない生活になり、行動範囲が狭まってしまう可能性がある。

→同居されている子ども世代の方達が親の介護について相談できる場所を把握しておく必要がある。

### <参加者の皆様をお願いしたいこと>

◎新川町をどのような地域にしていきたいのか？

◎新川町の地域課題は何なのか？

→会議では、上記の2点についてご意見伺いますので、事前のご準備をお願い致します。

## 《第1回 東部地区 第2層協議体 会場のご案内》



ひがしくるめ  
接骨院

ひがしくるめ接骨院の裏にある**サンライズ**という建物の**2階**に、  
会場の『**新川町自治会集会所**』がございます。  
駐輪所の近くにある外階段で2階にお上がりください。  
※当日、建物の下でご案内致します。